

平成28年8月15日発行

RIKKO SEKAI No.1071 力行世界 平成28年8月15日発行 (1)

2016年  
8月号

年4回発行(1.4.7.10月号)

No.1071

(学法)日本力行会

# 力行世界

R I K K O S E K A I



創立1897年1月1日



## 目次

会館生バスツアー…………… 2・3	りっこう幼稚園だより…………… 6・7
練馬区文化交流講座	PTA会長のことば・家族参観
「ブラジル移民とネリマ」…………… 4	春の遠足・花の日・体育参観
[コラム]	ラボ一泊ホームステイ…………… 8~11
日系四世にも特定ビザ発給を…………… 5	事務局だより・会員案内…………… 12



会館生バスツアー

# バスツアー走り書き

去る6月5日、力行会館恒例行事日帰りバスツアーを開催しました。行き先は2ヶ所、横須賀の三浦半島にある『長井海の手公園ソレイユの丘』と、『横浜中華街』。会館生にとって楽しい時間を送ってもらうこと、会館生同士が共同作業によって絆を作れることを目標として計画しました。旅の目玉は3つ、動物との触れ合いや三浦半島の雄大な景色を望める広大な敷地で様々な体験が出来ることと、ハンドクラフト体験とバーベキューです。ハンドクラフト体験では押し花のキーホルダー作りを行い、バーベキューでは海鮮・肉の食べ放題に舌鼓を打ちました。海外からきた留学生と幼稚園研修生、日頃は限り有る生活費の中でやりくりしている彼らもこの時は腹いっぱいになるまで食べておりました。宗教上肉を食べない会館生も海鮮があることで誰もが心行くまま楽しんでおりました。最初の写真にありますのは特設会場にあった高所作業車の体験で、地上30メートルから撮影した写真です。右側の写真は会館生の皆さんを地上から

取ったものです。会館生の皆さんはとても楽しんでいました。もう1つの写真はハンドクラフト体験でキーホルダー作りの時に撮ったものです。どの押し花を選ぶか、どれほどの量をいれるか、どのように飾るか、会館生の個性が光りました。皆が真剣に集中して作ったキーホルダーは、その後皆が日

頃使うバッグやキーホルダーとなって光っておりました。バーベキューの写真では種類豊富な海鮮が載っております。

以下にブラジルから来日したりっこう幼稚園研修生原タイスさおりさんの感想を掲載します。

(山本晃一郎)



## 2016/06/05 力行会バスツアー感想

バスツアーはやっぱり晴れてほしい気持ちはありましたが朝はあいにくの雨。

最初のはソレイユの丘はどんな所なのか全くイメージがわからず、なにをするのかも不明のまま到着しましたがパンフレットを見た時にワンワン広場やゴーカート、おもしろ自転車などとても楽しそうなものが盛りだくさんあって晴れたらいろいろ遊べる場所なんだと実感しました。ですが、当日イベントが行って、重機体験や工事で使う機会を触ったりいじったり乗ったり

と初めて近くで見て体験したり、押し花でキーホルダーを作ったりと雨でもまた充実しました。



私が小さいころから疑問に思っていたのは、街でよく工事現場の人がカメラみたいな物を覗きながら何かを見て







いるところでした。そのカメラみたいな物を今回見ることができて「あー、そういうことだったのか」とそのカメラの正体が分かってとてもスッキリしています。

普段はあまり近くで触ることもできないし操縦だったり乗ったりと普通だったら無理なことをこうやって体験できたことはとてもよかったなと思っています。

お昼、とても楽しみにしていたバイキング。大好きな海老もイカも食べることができてとても満足でした。そしてあまりしゃべったことのない留学生と交流できたことも嬉しく思います。

お昼後は少し雨もやんでアーチェリーをしたりまた機械体験したりとゆったり時間を過ごしました。

横浜へ着いたときは雨もなくなり晴

れ晴れしく歩くのにはとても気持ちが良かったです。横浜は今回人生初めて行きました。中華街へ行ったらまず食べたかったのがよくテレビで見た小籠包を人生で一度は絶対に食べたいと思っていたので大矢さんに素敵なお店を紹介してもらって食べに行きました。肉汁がたくさんできてテレビでみたままでもとても感激しました。忘れられない味になりそうです。

横浜で他に見て回ったのは山下公園の日本郵船氷川丸の中を見て歩きました。中は昔のまま残っていて野外デッキに出た時は海風がとても気持ちよくあんなに大きい船に乗ることじたい初めてだったので感動しました。

一番興奮したのが機関室と操縦室でした。昔使っていたのであろうモルス発信機、アニメや映画でよく見たこ

とがありましたが実際触れたの初めてだったのでとても感激しました。

時間がギリギリになってしまい船内もあまりゆっくり見れなかったのがとても残念でした。次時間があるときは横浜中華街も歩いてみたいし、氷川丸の中もゆっくり見ていきたいと思っています。

今回のバスツアーは最初は雨で不安もありましたがお昼から天気にも恵まれ今まで経験してこなかったことをたくさんできた一日になったと思います。





# 練馬区文化交流講座「ブラジル移民とネリマ」

—練馬区と当会共催で開催、当日は講師とブラジル留学生達が参加協カ—

今年の夏は、南米初のオリンピックがブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催されることで何かと話題になっているが、今回この機会を利用して、ブラジルを広く区民に紹介したく、強いてはブラジルと深い関係のある当会に「ブラジル」に関する講演会を企画共催願いたい旨が練馬区地域振興課事業推進係より依頼があり、承諾、去る7月25日(月)の夕刻、練馬区駅前のココネリホールにおいて文化交流講座「ブラジル移民とネリマ」が開催され、当日は多くの区民の方々が参加され、熱心に講演に耳を傾けていた。

そもそもブラジルとは余り縁が深くはない練馬区とブラジルとの関係をテーマに主眼が置かれていたため、その少ない関係の中で、武蔵大学教授で日系ブラジル人のアンジェロ・イシ教授、成増に存在するブラジル料理店「コバ」、そしてかつて多くの会員がブラジルに渡航した当会の「3つ」ぐらいが唯一のブラジル関連であり、当日のコンセプトからブラジル料理店「コバ」については除外し、まずはアンジェロ教授に今回の講演会の参加要請をお願いしたところ、ご快諾を得、当日の講演会のトップバッターで「日本とブラジル」をテーマに、特に今回のオリンピックがブラジルに決定した本当の理

由や、1990年代以降のブラジルから日本へのデカセギ現象(後に定住)から読み取る問題点など、従来、日本からブラジルへの出移民問題としての意味合いが多くを占める日本とブラジル関係の講演としては全く異なる視点での講演会は、当日用意された映像と音楽でますます聴衆の興味を引きつけた。

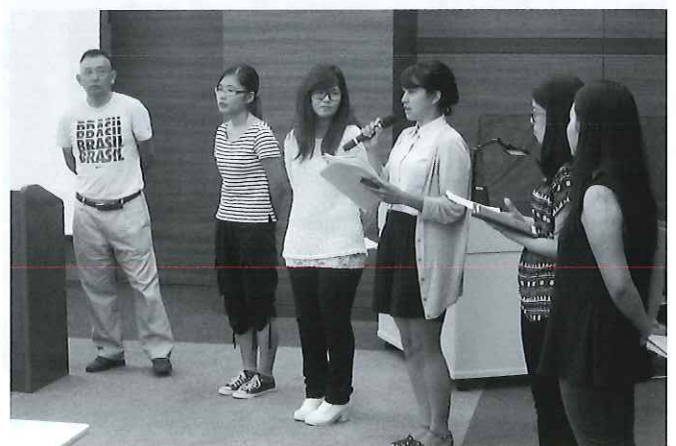
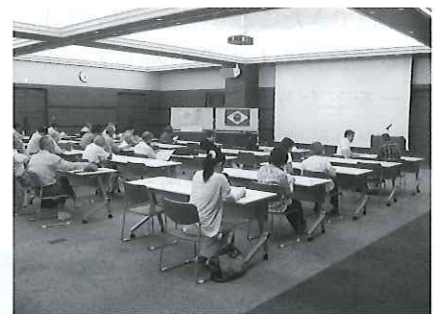
続くテーマ「日本力行会とブラジル、ネリマとの関わり」では当会事務局課長で、日本移民学会員の田中直樹より、力行会の紹介ビデオを鑑賞した後、簡単に力行会の歴史の補足説明、特に移住者の訓練施設農場の必要性から、文京区小石川より1926(大正15)年に、現在の練馬区小竹町に移転したこと、移転後は多くのブラジルを中心とした青年単独移住者を送り出したことなどを様々なエピソード共に参加者に紹介した。

なお、今回の講座実施に際し、事前にアンジェロ教授と当会との間で、せっかく参加頂いた区民の方々に生のブラジル留学生達の声聞いてもらうことがベストであると考慮し、講演者の講演終了後、当日参加した当会在住のブラジル留学生5名が、自己紹介と共に、日本への来日目的、将来の夢、各々の日本との関わりや家族のことなど、実に様々な事情や問題提起があり、



思いの外、参加した方々に共感と感動を与え、大好評のうちに講座が終了した。

今回の交流講座実施に当たり、練馬区地域振興課事業推進係にご機会を与えて頂いたことに感謝申し上げますと共に、お忙しい中も講演者として参加協力頂いた武蔵大学教授のアンジェロ先生、そして何よりも多くの感動を与えてくれた力行会館在住のブラジル留学生の方々にこころより御礼を申し上げます。





# 【コラム】日系四世にも特定ビザ発給を

ニッケイ新聞 6月28日(火)

最近、ブラジルの代表的な5つの日系団体の間で、四世の日系人にも「特定定住ビザ」を発給するように日本政府に意見書を出す動きがあると聞き、これは歓迎すべきだと思った（現在は三世まで）。サンパウロ市の日系団体を見回しても、リーマンショック以降に大量帰国した日本育ちの三世世代が職員となって活動を支えている。日本語が達者で、日本文化を深く理解する彼らの存在は、今後の「日系社会の宝」だ。

▼現在では一時滞在の「デカセギ」ではなく、「在日ブラジル人」というにふさわしい世代が日本に育っている。良くも悪くも、普通のブラジル人々化していく日系の若者が身の回りに多い中で、日本で育った世代には「第2の戦後移民」的な部分を強く感じる。ブラジルに帰国した彼らには、いずれ将来の日系社会の屋台骨になってほしい。

▼とはいえ、そんな彼らもいずれ高齢化する。彼らの様な日本で育った世代が、日本が不況になるたびに大量帰国し、それがブラジルの日系社会を再活性化する——そんなサイクルができたなら、日本とブラジルの絆はより永続化する。

▼米国では1924年に日本移民排斥法が施行されて以来、移住は途絶し、戦争で対戦国となったために古株日系人は日本文化や日本語に興味を持たない人が多く、戦後移住者とは協調しない部分が強いと聞く。

▼ブラジルの場合、戦争を挟んだ1941年から53年以外は、最後の移民船が来た1973年まで入り続けた。さらに結果的にデカセギブームが「第2の戦後移民」を生んだ。

▼日本に対して思うのは、「外国人技能実習制度」とかいう中途半端な形で一時滞在労働者を入れるより、日系人を「移民」として受け入れる政策を進めてほしいという点だ。人口減少化を食い止めるために外国人移民導入政策検討との話も聞くが、まずは日系人を入れるべきではないか。だから四世にビザを解禁する意味は大きい。

▼もちろん、デカセギには負の側面も大きい。だが覆水は盆に返らない。前向きに対処していくしかない。何の受け入れ政策もなく1992年に三世までの特定ビザ発給を始めて、斡旋業者による不当な搾取が多発した過去に学び、ちゃんとした「移民政策」として解禁すべきだ。特に彼らの子供を日本の公教育でしっかりと受け止める体制を作って、「外国に起源を持つ日本市民」を地域住民として受け入れる機運を広めてほしい。日系人でそれができないなら、他の外国人にはもっと難しいはずだ。

▼日本が国際化するためにすべきことは、外国人をいれることより、日本人の若者が外国経験を積むことだ。それは留学などのハードルの高いものでなく、「なんちゃって移住体験」を積むことだと思う。

▼外国で数年を過ごすうちに、日本の本当の良さが骨身に沁みて分かるよう



在日ブラジル人の定住化を報じるエスタド紙の記事

になる。今の日本がそのままでも十分に凄い国だと、しみじみ実感するまで、外国に滞在する経験をすべきだ。日本の日本人は、実は黄金の椅子に座っているのに、「自分はコジキだ」と勘違いして卑下する変人の集団だと常々思う。

▼そんな移住体験を積んだ日本人が人口の1割を占めるようになれば、おのずと国際化する。外国人を入れるより、日本人自体が意識を国際化すべきだ。そして、外国滞在する先としては、日系社会のあるブラジルは最適だ。良くも悪くも、この国は日本とは真逆部分が多い。でも、だからこそ、世界の中で日本がいかに凄いかが実感できる。

▼日本で四世ビザを解禁し、さらに日本の若者がブラジルで数年を過ごせる滞在ビザ、たとえばワーキングホリデー制度などを結んだらどうか。日系人だけでなく、たくさんの親日ブラジル人が日本を体験できる。ぜひそのような相互交流で、絆を強めてほしい。(深)



# 学校法人 **りっこう幼稚園** だより

## 親子で広げよう！りっこう幼稚園！援！縁！

PTA会長 大矢 育美

早いもので、一学期も残すところあとわずかとなりました。

緊張した様子で、新しい礼拝堂で入園式を迎えたもも組さんの姿がたくましくなり、子供の成長に驚かされる毎日です。

園庭の使用ができない中、子供たちのパワーをどうするか、様々な工夫をして保育に向き合ってくださいている先生方、本当にありがとうございます。一日も早く、子供たちが元気に園庭をかけまわれることを、楽しみにしております。

新園舎での新たな生活、旧園舎の工事の中で始まった今年度。5月にはクラス委員の方を軸にして、皆様のご協力のもとにPTA委員・係が決まり、本格的に活動が始まりました。改めまして、保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

私たちPTA役員の業務は、今年度のPTAスローガンを決めるところからスタートをしました。

「親子で広げよう！りっこう幼稚園！援！縁！」役員7人の一致した想いは、助け合う気持ちを大切にしたい

ということです。様々な事情をかかえた人が集まる幼稚園で、PTA活動は皆平等というわけにはいきません。コミュニケーションをとりながら、お互いを理解し合って活動していくことでつながる縁は、尊いものだと想います。こうして出会えた縁を大切に、子供も大人もかけがえのない素敵な園生活になりますように。

今年度は、新園舎での委員・係活動になりますので、ご不便をかけることが多いと思います。ひとつひとつ話し合いながら進めていけたらと思いますので、どうか皆様のご協力をよろしくお願い致します。

## 家族参観

もも組担任 寺尾 夏枝

5月11日幼稚園では家族参観を行いました。各学年お家の方へのプレゼントで絵と『おかあさん』のお歌を準備しました。年少組では、お友だち一人ひとりに「お母さん、どんな顔してるかな？」などと投げかけ、「髪の毛長いんだよ！」「おめめ大きいんだよ！」などの会話を楽しみながら気持ちを込めて取り組みました。当日は、少しいつもと違う雰囲気涙を流して登園するお友だちもいましたが、その後の自由遊びで少しずつ気持ちを切り替えるとクラスへお家の方々がいらっ

しゃる頃には表情も和らいでいました。お家の方がクラスへ来るといつも自分たちが座っている椅子はお家の方へ、みんなはお膝に抱っこで座ります。手遊びや大好きな『さんぽ』のお歌をうたい終わると大きな拍手をもらいとてもうれしい気持ちを味わいました。

そして、お家の方とのスキンシップを楽しみながらじっくりと関わりを持つ時間となりました。最後には準備していたプレゼントを『ありがとう』の言葉と一緒に渡すとたくさんの喜びの声があがり、お歌のプレゼントにはまたたくさんの拍手をいただき、わ



ずかな時間ではありましたがお家の方々と心温まるひとときを過ごすことができました。これからも子どもたちが身近な方々への感謝の気持ちを忘れず穏やかな心で大きく成長していくことを願っています。

## 春の遠足

もも組担任 横尾 寛子

5月20日、爽やかな春の風を感じる心地の良い日に、川口グリーンセンターへ遠足に行きました。もも、すみれぐみはお家の方と、ゆりぐみはクラスのみんなどと一緒にバスに乗り出発し

ます。バスの中ではみんなの大好きな「バスごっこ」の歌をうたったり、お弁当の中身を紹介しあいながら、楽しい気持ちをより膨ませて目的地まで向かいました。グリーンセンターに着き、バスを降りると子どもたちの目は一層輝いてい





たように感じます。色彩やかな花壇の前で写真撮影をし、噴水やバードセンターもみんなで見学しました。ちょうどジャクが羽を広げて歓迎してくれた時は「うわー！」「きれい！」と子どもたちも大興奮！貴重な瞬間を見ることができました。また、グリーンセンター内を軽快に走り抜けるミニ鉄道には、ゆりぐみは全員で乗車し、もも、

すみれぐみでは自由時間に乗車する親子の姿も。通り道で出会う人たちと手を振り合い、自然と笑顔がこぼれる場面がありました。他にも大きなアスレチックや大芝生でたくさん体を動かし、伸び伸びと遊んでいた子どもたち。一日遊んだ帰りのバスではみんなぐっすりと眠りにつき、疲れを癒しているようでした。「明日遠足？」「大型バス

に乗るんだよね！」「おやつ何にしようかな？」遠足の日を楽しみにしていた子どもたちにとって心に残る素敵な日になったと思います。これからも、クラスや幼稚園のみんなとの様々な行事を楽しみ、喜びを共に分かち合って過ごしていきたいです。



### 花の日

ゆり組担任 山路 愛里

6月にはキリスト教の伝統的な行事、花の日があります。りっこう幼稚園での花の日の活動も心があたたまるもので、大切にしている取り組みのひとつです。「お花をもらったらどんな気持ち？」「お花を見るとどんな気持ち？」と問いかけると次々と返事が返ってきました。嬉しくなる、笑顔になる、優しい気持ちになる…お花にはそのようなちからがあることを子どもたちも知っています。「お花みたいな優しい気持ちになってお花を届けよう」と、各クラスでどのような気持ちで取り組むのか、訪問先でどのような

ことを聞いてみたいか等、準備をしてきました。

もも組は、みんなの身体を診てくださるお医者さんと歯医者さんにありがとうの気持ちを込めてお花を渡しました。すみれ組は、消防署、駅、病院、交番、図書館へ、ゆり組は近隣の老人ホームへお花を届けに行きました。訪問先に到着すると少し緊張した表情もありましたが、どの場所もあたたかく迎えて下さり、すぐに子どもたちからも笑顔が戻ってきました。老人ホームでは名前や年齢等の自己紹介をしましたが、百歳を超えるおじいさまおばあさまに驚く様子もありました。歌のプレゼント



をしたりマッサージをしたり、それぞれの場所で特別な時間を過ごすことができました。

これからも花のように人の心を和ませられる優しい気持ちを育み、花のような素敵な笑顔を咲かせながら過ごしていきたいです。



### 体育参観

すみれ組担任 土肥 茉那実

6月18日、子どもたちとおうちの方が一緒に運動をする、親子体操を行いました。今年は、園庭の工事に伴い、礼拝堂で活動を行いました。おうちの方と一緒に、「おはようございます！」と元気にやってくる子どもたち。一緒に登園する機会が少ないお父さんと手をつないでくる子の中には、少し緊張している様子の子もいました。また、新園舎の中に初めて入るおうちの方も多く、「私のお部屋はこっちだよ！」と、得意気に案内をする子どもたちの姿もありました。

4クラスの親子が礼拝堂に入り、親子体操スタートです！室内で行う今年

ならでは、体をおろしての運動から始まりました。横になったおうちの人の足に子どもたちがしがみつきの、足を上下に動かす運動では、「キャー！」「楽しいー！」と、子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきました。立っての運動では、子どもたちはおさるになり、「木」になったおうちの人ののぼったり、おうちの人の肩に乗り、キリンになってゆらゆらお散歩をしたり…。親子ならではの体操を、たくさん汗をかきながら楽しんでいました。親子でたくさん運動した後は、それぞれのお部屋での活動をしました。肩たたきのマッサージをして、「いつも

ありがとう！」の言葉と共に、お父さんの絵とうたのプレゼントをしました。「おー！」と喜んでくれているおうちの方を見て、子どもたちも嬉しそうなお顔になっていました。親子で一緒にスキンシップを楽しみ、さわやかな笑顔が溢れる活動となりました。





## 第29回 ラボー泊ホームステイ アンケート

毎年恒例ラボ・パーティー主催の力行会館留学生向けの一泊ホームステイプログラムが、今年も6月11日から12日の1泊2日で開催されました。

ラボ・パーティーは幼児の英語教育に携わってこられ今年で創設51周年を迎え、子供が楽しく英語を学ぶと共に、英語教育と国際交流の一環として行われる一泊ホームステイプログラムは、なんと今年で29回目を迎えました。

会館生と受け入れ先家族の喜びの声が届いて参りましたので、以下にご紹介いたします。

### 1. 交流会の感想 2. ホームステイの感想

1. I thought the games were really fun and interesting, same with the presentations. I learned a lot about different cultures. The food was very delicious.

I wish I had prepared better because I did not know what kind of resources we would have to do the presentations. It is really important to be very clear about

what kind of materials we have to use to be able to do it properly. Being a college student, I prepared a Powerpoint-like presentation, but we did not have a way to present it. So I am sorry for not giving a good impression.

2. I really liked the places we visited, specially the Architecture museum. I ate

different food from usual and was given the opportunity of trying new things. I really felt the authentic feeling of being part of a Japanese family for one day. I am not very good with children, but I tried my best and had a lot of fun.

Carolina Helena Ambrosio Dias

1. I think the gathering party was very interesting and very informative. It has helped all of us to understand many countries at a much deeper level. We were also more equipped with information and the culture of Japan. During the games and ice breaking, all of us had the chance to get to know each other with a little game to break the ice. The games were very interesting too. All of us had fun. As for the workshops, everyone could pick a country to learn about. I think it was a very good idea as all of us had a few opportunity to pick different countries to learn about during each workshop session (3 sessions). We also had a chance to share about our countries during the workshop sessions and I am very glad for this opportunity. Everyone

in the gathering were very helpful and friendly and attentive. Although not many of the Japanese could speak English, I could see that they all made the effort to try to communicate with us and help us feel at home. I could not have imagined a better way of exposing everyone about the cultures of the world. Also, the dinner was really good. Every family there made an effort to prepare so much food for us. I am very glad that I was given this opportunity to attend this event. Hopefully there will be more similar events in the future. Thank you once again!

2. Yes. I enjoyed my one-day homestay very much! My host family were so friendly. They always made me feel like part of the family. Although it was a

little difficult to communicate with them due to the language barrier, I know that they are trying very hard to help me feel at home. They also taught me a little Japanese. The kids were so cute and I love them very much. They made little presents and notes for me in remembrance of this homestay. Most importantly, they organized a Japanese birthday party for both the kids. At the same time, they pre-celebrated my birthday and welcomed me to their home. They ordered a cake from a famous bakery in Nerima and the cake was really delicious. Before the party, we went to the most famous fish market in Nerima and bought some sashimi. We also decorated the house and cooked together in preparation of the party. The kids' grandparents and relatives were invited for the party and everyone welcomed me with open arms. It really reminded me of my home in Malaysia during Christmas whereby we will all get together and prepare for the Christmas dinner together and also invite many special guests and relatives. We had an amazing time together. I really hope that we will meet again soon before I leave to Malaysia. They are the best. I will always remember them as my family in Japan!

Alyson Ng Wei En





1. LABO パーティーは面白かったです。私はゲームや手作り日本料理などが好きです。そしていろいろな国ダイナミックはいいことだと思いました。

たぶん、私たちは自分の国の資料をつくるの方がいいです。べつの人は知らないインフォメーションを書いたので、私は話すときにあまりわかりませんでした。

それでLABO パーティーはとても楽しろくて、べつの国の文化が教えて

くれたのでいいいけいけんでした。

2. 一番好きなことはホームステイでした。私のホームステイ家族（斉藤様）はやさしいし、あかるいし、それにしんせつな家族から、私はうれしかったです。

LABOプログラムのアリさんは19歳で、子供たちがいないので、みんなは日本語で話していました。だから日本のぶんかやをもう少し習って、日本語を練習したことができたから、私は幸

せになりました。それはいい勉強になりました。

斉藤様は川越に連れていってくれました。あそこで江戸時代の建物のやみせをみたり、うなぎをたべたり、たくさんを見たりしました。

ホームステイが大好きでした。このけいけんをさんかしてできたので、本当にありがとうございました。

Ritsuko Sato

1. I think the gathering party on June 11th is really beneficial for all the participants due to the activities held, especially the cultural exchange part which allow participants to choose which country's culture do they want to know about.

Meeting people there and talking with them makes me think that it is a wonderful thing getting to know different people.

2. The one-day homestay experience is splendid, my host family are really

nice people and their warm welcome made me feel that I've made a second family here in Japan. I had a really great time talking with my host family, getting to know each other's culture and experiencing it first hand during the homestay period is an excellent way to learn.

Eating homemade Japanese food, being brought to many places during the homestay period is really fun. This experience widen my view of the Japanese society and culture a lot and I've learnt a lot during the time I've

spent with my host family.

Also, being able to communicate using Japanese all day long really helps in improving my speaking skills in Japanese.

Above anything else, by being with my host family, I've finally knew how it is to feel like being in a family, because my parents had divorced long before I knew it. The time I spent with my host family is irreplaceable, I'm really glad that I applied for the homestay program and I hope to see them again soon.

TAN CHEK BENG

1. It was really nice and I was surprised by the skills of young men and women on the direction of the activity. I think was a good activity for young people to demonstrate their abilities. Maybe because most of us are older, in my case almost 30 years old, it was difficult to interact with kids through games. Furthermore, to really enjoy that experience is necessary for

the students that attend the party, to understand or speak some Japanese.

The final home made food was delicious, and really enjoy it as well.

2. What I love the most was the one-day homestay experience. In my case, the family was not only very warm at welcoming but also they were such smart and educated people so that made

me enjoy the homestay program much more. I think was a perfect match for my family and I to meet! I really enjoyed it because I could learn how Japanese families live, how they raise their kids and I feel I made a new family in Japan as well.

Isamu Itosu

1. It was an awesome experience, a great chance to interact with other people from other culture and spend time learning about others countries and habits.

The staff was well prepared and managed to make a comfortable meeting and information gathering.

And also broke the ice of meeting our host family.

2. It was a nice and pleasant stay, unfortunately was only for an over night. It would be much more enjoyable if the time was extended. But even so, to be able to see the day-and-day of a traditional japanese family and be part of that, it's a unique experience to add in our lives.

Sérgio Leonidas Fernandes Pinheiro Filho





1. I think it was a very nice and organized party, we were able to feel the gentleness of the host families through all the delicious plates that they made for us.

We had a very unforgettable time and were able to learn about others cultures as well.

2. I absolutely enjoyed my home stay, it was my first time to stay in a house of people that I've never met before, so I didn't really know how it was going to be. At the end it was an amazing experience and the family that had me in their house were very kind.

Hiromi Taninokichi



1. ラボパーティ主催者のみなさん、イベントはすべてスムーズに行われ大成功でしたね。おめでとうございます！その中でも私が個人的に好きだったのは、ワークショップアクティビティでした。なぜなら私の国を、異なる国籍やバックグラウンドを持つ人たちに紹介することができたからです。さらに、他の国の文化についても学ぶことができました。このワークショップを通じて日本のスポーツやゲームについてより学び理解を深めることができるとても嬉しいです。スタッフの方々によって行われたゲームはどれも面白く、とても魅力的でした。

ラボグループのスタッフの方はみな、とてもフレンドリーで優しくかったです。残念ながら全員の名前と顔を一致させることは私には難しかったのですが、それでもみなさん顔を合わせる時はいつでも微笑んでくれました。

また、パーティで美味しいお料理をふるまってくれたお父さんやお母さん方も、ありがとうございました。日本人のお父さんとお母さんにお料理をふるまっていたのはこれが二回目でした。

最後になりますが、このイベントを開き、日本人のお家に泊まり、日本の家庭の文化を体験し、理解を深める機会をくださり、本当にありがとうございました。このようなイベントがこれからも毎年開催され、異なる国から来た人や異なるバックグラウンドを持つ人たちが交流を通じてお互いに多くを学べることを願います。

心を込めて

2. この手紙は友達に日本語に訳してもらいましたが、私の書いた英語の原文も残しておきますね。

私を家族の一員として選んで受け入

れてくださり、本当にありがとうございました。一晩、あなたの家に泊まることができてとても嬉しかったです。

一泊二日という短い間でしたが、まるでとても長い間泊まらせていただいたような、またまるで私の家にいるかのような感覚でした。パパとママは、まるで実の子供のように優しく私に接してくれました。ありがとうございました。ママのお料理はいつも最高に美味しかったです。また、二人と一緒にビールを飲んだこともいい思い出です。楽しいことや日本の文化をたくさん体験させてくれてありがとうございました。二人のおかげで言葉の壁を全く感じなかった僕は本当にラッキーだったなと思います。

僕の弟のような存在であるてんきくと一緒に遊べて良かったです。てんきくんは本当に可愛くて元気でした。てんきくんとは言葉が通じないことがほとんどだったけど、それでも楽しく一緒に遊ぶことができました。てんきくんを見ていると自分の小さい頃を思い出します。

一方で、もう一人の兄弟のじょくんはとてもシャイだなと思いました。あまり話せなかったのは、言葉が通じなかったことが大きかったかなと思います。じょくんは中国語を話せなくて、僕は日本語を話せなかったのも、僕がいつか日本語を話せるようになって、じょくんと日本語で話せたらなと思います。僕も日本語を勉強するけど、じょくんも英語の勉強頑張ってください。パパが「大丈夫だから、話してみなさい！」と言っていたように。そしていつか英語でも二人で話せるといいですね。英語を話すことを恐れなくてくださいね。前にも言ったけど、マレーシアに来た時は僕を見つけるの

を忘れないでください。マレーシアの旅をプレゼントします。もちろんお金はいりません。

そして、人気の温泉にも連れて行って来てありがとうございます。温泉は本当に気持ちよかったですし、着物を着た時の感動と言ったら、言葉では表せないほどです。パパがいつも日本の文化は面白いって言ってたけど、僕も本当にその通りだと思います。温泉に連れて行ってくれたおかげで、日本の文化に対する理解をより深めることができました。ありがとうございます。車のショールームも良かったです。僕は車も好きなので。それと、僕が辛い食べ物が好きだったって知ってからタイ料理レストランに連れて行って来てありがとうございます。本当に僕のことを家族の一員みたいに接してくれました。ありがとうございました。

いろいろと長く語りましたが、一番伝えたかったのはとても楽しかったということです。8月にマレーシアに帰るので、その前にもう一度お家に招待してくれたら嬉しいです。最後に、みんなが私にしてくれたすべてのことに感謝します。また、神さま、どうかみんながいつまでも健康で幸せに暮らせますように。

ありがとう。

敬具

Chow Kah Yong





# ホストファミリーからの感想です。

### <交流会について>

留学生の生活環境を知ることができた。

### <ホームステイについて>

1泊2日の交流会の帰りに連絡したところ、ホームステイの申し込みがまだあり、帰国まで見送ってもらった。帰国後、見送りの写真が送られてきた。帰国後、ホームステイの申し込みがまだあり、帰国まで見送ってもらった。帰国後、見送りの写真が送られてきた。

### <交流会について>

実行委員の学生が中心となり、一生懸命準備してくれてくれた。参加の準備も大変だった。交流会の準備も大変だった。交流会の準備も大変だった。

### <ホームステイについて>

今回はホストファミリーの皆さん、また、日本から来た留学生の皆さん、交流会の準備も大変だった。交流会の準備も大変だった。交流会の準備も大変だった。

### <交流会について>

遅れて参加したけれど、みんなが楽しそうだった。英語の勉強にもなった。

### <ホームステイについて>

毎年受け入れられているので、今回も4回目です。毎回違う国の学生を紹介してくれて、各国の文化や習慣に少しづつ慣れてきました。

### <交流会について>

いろいろな国があったので、楽しかったです。いろいろな国のことを知りたいと思いました。

### <ホームステイについて>

お宿は最高で、山の上までいきました。山の上までいきました。山の上までいきました。

### <交流会について>

とても楽しかったです。いろいろな国の人と交流することができて、とても良かったです。

### <ホームステイについて>

とても楽しかったです。いろいろな国の人と交流することができて、とても良かったです。

### <交流会について>

留学生の国ごとに分けて色んな話をして、とても楽しかったです。

### <ホームステイについて>

英語の勉強ができて、とても良かったです。英語の勉強ができて、とても良かったです。

### <交流会について>

いろいろな国の人と交流することができて、とても良かったです。

### <ホームステイについて>

我が家の子供が小学生(9.7.5歳)の場合、ホスト側は刺激が強いので、留学生側は楽しんでくれると思います。

### <交流会について>

参加した国が少なかったけれど、交流することができて、とても良かったです。

### <ホームステイについて>

私の家は1泊2日で行ったので、留学生側は楽しんでくれると思います。

### <交流会について>

楽しかったです。いろいろな国の人と交流することができて、とても良かったです。

### <ホームステイについて>

留学生も楽しんでくれて、とても良かったです。

### <交流会について>

初めての交流会参加です。年齢や国の違いを超えて交流ができてとても楽しく、新しい経験ができました。

### <ホームステイについて>

1泊2日の子供たちを受け入れる事ができました。子供たちも、お互い気軽に、無理なく楽しい時間を過ごしていました。

### <交流会について>

実行委員の皆さん、準備が完璧でした。交流会の準備も大変だった。

### <ホームステイについて>

とても楽しかったです。いろいろな国の人と交流することができて、とても良かったです。

### <交流会について>

初めて参加して、いろいろな国の人と交流することができて、とても良かったです。

### <ホームステイについて>

初めて受け入れたので、とても楽しかったです。

編集部の都合により一部内容を割愛させていただきました。



## 委嘱および人事異動

・技能職員 中 島 良 造 殿  
7月20日より園長職を解き、技能職員とし、事務局勤務とする。

担当業務として、日本館及び国際館の管理他の業務を委託する。

・技能職員 説 寿 弘 殿  
7月21日より技能職員とし、幼稚園事業部長として園長を委嘱する。

平成28年7月21日

学校法人 日本力行会  
理事長 村上悦榮

## 日本力行会機関紙「力行世界」 定期購読会員ご加入のお願い

拝啓 残暑の候 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当会はお陰様で創立119年を迎えました。「日本民族の霊肉救済」を旗印に、苦学生及び渡米希望者に支援や便宜を与え、さらに青年の移住斡旋や現地教育にも傾注し、北米、中南米、東南アジア、旧満州へ約3万人の移住者を送り出し今日に至っております。

創立80周年には、記念事業として創立理念をさらに発展させ、“世界と日本の架け橋となる人材育成”“海外同胞との連携強化”などの実現を目標に、留学生会館・「国際交流会館」を新設し、各国からの留学生を迎え、日常生活を通して日本文化を習得しながら修学や研究に励めるような環境づくりと支援活動を続けて参りました。

ご賢察の通り、この約40年間に円価値の激変などの日本経済及び世界的位置づけの変容により来日に感謝すべき時代を迎えた今、留学生の来日数や留学目的も変わり、公益の法人といたしまして資力不足ながらも、関係先との諸問題の解決や支援活動の強化や充実にも拘らず、在日留学生の生活環境はまだまだ十分と申し上げる状況ではございません。

つきましては、より積極的な国際交流の継続をご理解頂き、当会活動理解の為、『日本力行会機関紙「力行世界」定期購読会員』のご加入を頂きたくお願い申し上げます。また、ご友人や国際交流にご関心を抱かれている方々へのご紹介も合わせてお願いいたします。

末筆に成りましたが各位の益々のご健勝と弥栄を祈念いたしております。

敬具

## 熊本地震への義援金 ご協力ありがとうございました

平成28年4月14日、16日に発生した熊本地震により、被災された方々を励まし、一刻も早い復旧・復興を願って、5月27日から6月17日までの間、りっこう幼稚園の保護者の皆さまなどに義援金をお願いしましたところ、多くの方に賛同いただき、10,359円の義援金となりました。ご協力に厚く御礼申し上げます。

この義援金にこれまでの宗教法人力

行基督教会への献金を加えた5万円を6月24日に九州キリスト災害支援センターの口座に振り込み、当センターを通じて被災地の復旧・復興に役立てていただけることになっています。

今後も、力行精神を生かし、大災害で被災された方を支援していきたいと思っておりますので、よろしくご依頼申し上げます。

主の御名を賛美いたします。

熊本・大分地方の地震災害のためにお祈りくださり、愛の支援献金を賜りまして心から感謝いたします。支援活動の様々な必要のために大切に用いさせていただきます。

熊本に関するメディア等の報道が少なくなってきましたが、被災地ではまだまだ厳しい状況が続いております。私たち「九州キリスト災害支援センター」はこれまで、国内国外の多くのボランティアの方々と共に緊急支援に邁進してきました。今後も、行政の支援が行き届いていない方々への支援を続けると共に、被災教会と教会が置かれてい

る地域の方々にお仕えしてまいります。

今もなお、痛みの中にある被災地の方々、キリストの愛に包まれ癒されていきますように、そのために当センターの働きが豊かに用いられますように続けてお祈り頂きますなら幸いです。

お祈りとご支援に心から感謝いたします。

在 主

2016年6月

九州キリスト災害支援センター  
代表 横田法路  
会計 宮内誠二

## 『日本力行会機関紙「力行世界」定期購読会員』制度についてのお知らせ

個人会員 年額一口 ¥3,000円

法人会員 年額一口 ¥20,000円

《口数の制限はございません。会員期間＝平成28年4月1日～平成29年3月31日》

### (会員特典)

★各種講演会などの行事のご案内

★機関誌「力行世界」のお届け

★ゲストルームの優待宿泊利用（一泊4,000円を500円引き年間7泊まで）

### (ご送金方法)

同封の郵便振替用紙をご利用ください。

(口座番号が変更となっております。ご注意ください!)

平成28年8月15日発行  
年4回発行(1・4・7・10月号)  
発行  
(学法)日本力行会

〒176-0004

東京都練馬区小竹町2-43-12

電話 03-3972-1151(代)

FAX. 03-3972-1264

E-MAIL: rikkokai@rikkokai.or.jp

ホームページ

http://www.rikkokai.or.jp